

<p>基本目標</p>	<p>5 安定した経営を持続できる水道</p> <p>主要施策（8）～（10）</p>
<p>施策の趣旨</p>	<p>主要施策（8） 人材の確保と育成 人材面から経営基盤の強化を図るため、計画的な採用を進めるとともに、職員一人ひとりが企業人としての自覚をもち、水道事業の遂行に必要な知識と能力を十分に習得できるよう、研修等の機会を通じて人材の育成を進めていきます。</p> <p>主要施策（9） 業務能率の向上 適正で能率的な業務運営を確保し、お客様に信頼される経営を推進するため、職員の業務能率の向上を図ります。併せて、業務処理の迅速化を図るため、計画的に情報化を推進するとともに、お客様の個人情報等については管理を徹底します。</p> <p>主要施策（10） 経営体質の強化 水道施設の大規模更新に伴う資金需要の増大等に備え、引き続きコスト削減を進めるとともに、収益の安定性の確保を図ります。また、県営水道の望ましい経営形態について研究を進めるなど、経営体質の強化に資する取組を幅広く行います。</p>

<p>評価結果の概要</p>	<p>基本目標5においては、3つの主要施策の下に9の主な取組を位置付けております。各取組について、担当課の自己評価をもとに内部評価を行った結果、</p> <p>(1)「達成状況」に係る評価は、全取組について「a」又は「b」評価（目標を「達成」又は「概ね達成」している）としました。</p> <p>(2)「成果（効果）」に係る評価は、主要施策（8）及び主要施策（9）について「b」評価（概ね成果が出ている）とし、主要施策（10）について「a」評価（成果が出ている）としました。</p> <p>(3)「今後の進め方」に係る評価は、全主要施策について「a」評価（継続）としました。</p>
----------------	---

主要施策ごとの当年度の取組と内部評価結果		
<p>(8) 人材の確保と育成(2事業)</p> <p>主な取組（平成23年度の事業内容）</p> <p>計画的な人材確保</p> <p>職員の育成と能力開発</p>	<p>「成果」 b</p> <p>「達成状況」</p> <p>a</p> <p>a</p>	<p>「今後の進め方」 a</p>
<p>(9) 業務能率の向上(3事業)</p> <p>主な取組（平成23年度の事業内容）</p> <p>能率的な業務運営の確保</p> <p>情報化の推進</p> <p>情報の適正管理</p>	<p>「成果」 b</p> <p>「達成状況」</p> <p>b</p> <p>a</p> <p>b</p>	<p>「今後の進め方」 a</p>
<p>(10) 経営体質の強化(4事業)</p> <p>主な取組（平成23年度の事業内容）</p> <p>品質確保に留意したコスト削減</p> <p>収益の安定性の確保と財務改善</p> <p>経営形態等に関する調査研究</p> <p>経営分析の活用</p>	<p>「成果」 a</p> <p>「達成状況」</p> <p>b</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>a</p>	<p>「今後の進め方」 a</p>

<p>外部評価委員会の 総評</p>	<p>当委員会は、千葉県水道局の実施した本目標関係施策の内部評価について、次のとおり評価します。</p> <p>〔「達成状況」、「成果」の内部評価に対する評価〕</p> <p>水道経営を巡る今日的な課題に対応し、安定した経営を持続するための主要な施策や取組の状況が示されており、各取組の達成状況や施策の成果に対する内部評価は、評価調書の内容及び補足説明を総合して妥当なものと判断します。</p> <p>なお、達成実績についてより丁寧に説明するなど、評価調書の記載の仕方等に改善の余地のあるもの、達成目標の設定の仕方検討の余地のあると思われるものがあり、検討課題であると考えます。当委員会から出た意見等を踏まえた改善を期待するものとして付記します。</p> <p>〔「今後の進め方」の内部評価に対する評価〕</p> <p>各取組や施策の推進状況を踏まえた今後の進め方についての内部評価は、総じて妥当なものと判断します。</p> <p>なお、当委員会から出た意見等については、今後の取組及び施策展開においても留意していただくことを期待するものであることを付記します。</p>	<p>「達成状況、成果」についての内部評価の妥当性</p> <p>A：妥当である B：概ね妥当である C：不十分である</p> <p>「今後の進め方」についての内部評価の妥当性</p> <p>A：妥当である B：概ね妥当である C：不十分である</p>
<p>外部評価委員会での 主な意見</p>	<p>基本目標5の各施策の内部評価等に関して、外部評価委員会から以下のとおり意見があった。</p> <p>主要施策(8)人材の確保と育成 取組 計画的な人材確保 達成実績が目標を上回る超過達成となったが、定数削減に逆行するという誤解を生むおそれがあるので、このような取組については採用に関する根拠を示すなど、慎重に説明をする必要がある。</p> <p>主要施策(9)業務能率の向上 取組 情報の適正管理 国のガイドライン(平成12年7月)に基づく包括的な「情報セキュリティポリシー」を整備しているとのことだが、情報管理分野においてもさらに危機管理という点から検討したほうがよい。</p> <p>主要施策(10)経営体質の強化 取組 品質管理に留意したコスト削減 達成指標が「コスト削減施策数」となっているが、何をやって、どのような効果があったのか、コスト削減率や、各施策の実績がより分かるような指標まで検討していくことが望ましい。</p> <p>取組 収益の安定性の確保と財務改善 財務改善に対する経営戦略的な考え方を説明していく必要がある。特に、建設投資については、中長期的な展望をもって経営戦略を考える必要があるため、こうしたことも含めて説明するとよい。</p> <p>取組 経営分析の活用 水道事業ガイドラインの公表に当たっては、137項目を出すだけでなく、千葉県水道局としての、業務指標に対する考え方が問われていることにも留意すべきである。</p>	